

のこさい

議会だより

No. **174**
6月定例会

平成28年7月31日発行

「議会だより」は、あなたと議会を結ぶ情報誌です。

- 2 「地域医療等対策特別委員会」
「広報広聴特別委員会」を設置
- 5 そこが聞きたい!! 一般質問



6月9日：木曽町児童交流会
(子ども花火体験)

「地域医療等対策特別委員会」 「広報広聴特別委員会」を設置

◆議案・請願一覧◆

議案番号	内容
43	湖西市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
44	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
45	湖西市固定資産評価審査委員会委員の選任に係る専決処分の承認を求めることについて
46	湖西市固定資産評価審査委員会委員の選任に係る専決処分の承認を求めることについて
47	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の承認を求めることについて
48	湖西市税条例等の一部を改正する条例制定に係る専決処分の承認を求めることについて
49	湖西市都市計画税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の承認を求めることについて
50	湖西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の承認を求めることについて
51	湖西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の承認を求めることについて
52	社会体育施設等への指定管理者制度の導入のための関係条例の整備に関する条例制定について
53	湖西市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

議会運営委員会から特別委員会の設置についての議案が提出され、全員賛成で「地域医療等対策特別委員会」と「広報広聴特別委員会」を設置した。

■地域医療等対策特別委員会

目的	湖西市の多世代にわたる地域医療、介護等のあり方について調査研究する。
期 間	調査終了まで
委 員	◎佐原 佳美 ○島田 正次 福永 桂子 菅沼 淳二 ○は委員長 高柳 達弥 竹内 祐子 牧野 考二 ○は副委員長 土屋 和幸 二橋 益良

■広報広聴特別委員会

目的	議会活動全般にわたる広報広聴活動のあり方についての調査研究を進めるとともに、その活性化を図る。
期 間	調査終了まで
委 員	◎馬場 衛 ○渡辺 貢 楠 浩幸 吉田 建二 ○は委員長 加藤 弘己 豊田 一仁 中村 博行 ○は副委員長 神谷 里枝

社会体育施設等への指定 管理者制度の導入に関する 条例を制定

議案第52号

「社会体育施設等への指定管理者制度の導入のための関係条例の整備に関する条例」を全員賛成により可決した。

この条例は、湖西運動公園ほか5施設の管理・運営を指定管理者に行わせることができるように、関係する条例を整備しようとするものであった。

◆本会議での質疑◆

問 導入しようとする理由、期待は何か。また運動公園内事務所の職員配置は。

答

民間事業者の専門知識や経営資源を積極的に活用し、サービス向上とトータルコストの縮減を図るために行う。指定管理者の職員配置および具体的な人員などは、応募団体の提案によるものとなる。運動公園管理事務所のスポーツ推進課職員については、今後検討する。

◆議会の概要

〔6月2日〕6月定例会が招集され、開議に先立ち、平成27年度一般会計繰越明許費繰越計算書や土地開発公社の経営状況など計3件について報告を受けた。開議後、会期を6月17日までの16日間と決め、市長提出18議案のうち、人事案件4議案を同意、専決処分5議案を承認し、その他の議案について説明を受けた。その後、請願2件について紹介議員の説明を受け、総務経済委員会に付託した。

〔6月9日〕5人の議員が一般質問を行った。

〔6月10日〕5人の議員が一般質問を行った。

〔6月13日〕4人の議員が一般質問を行った。

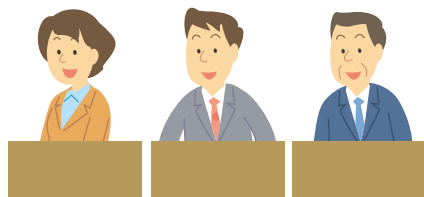
〔6月17日〕静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員及び静岡地方税滞納整理機構議会議員の選挙を行った。その後、議案に対する質疑を行い、9議案を原案のとおり可決し、議会運営委員会から追加提出された特別委員会の設置及び議員派遣の2議案ならびに特別委員会から申し出があった閉会中の継続審査を可決した。また、総務経済委員会に付託した請願2件の委員長報告を行い、1件を一部採択、1件を不採択とした。その後、総務経済委員会より追加提出された意見書1議案を可決し、6月定例会を終了した。

議案第56号

はしご車の取得を可決

はしご車の取得を全員賛成により可決した。

この議案は、火災などの災害に對して、市民の安全・安心のため災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車を取得しようとするものであった。



3	2	請願 番号	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54
所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願	自動車関係諸税の見直しについての意見書提出に関する請願	内容	自動車関係諸税の見直しについての意見書の提出について	議員派遣について	特別委員会の設置について	平成28年度湖西市水道事業会計補正予算(第1号)	平成28年度湖西市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	平成28年度湖西市一般会計補正予算(第1号)	市道の路線の廃止について	財産の取得について	湖西市新居町所周辺地区景観条例の一部を改正する条例制定について	湖西市風致地区条例の一部を改正する条例制定について

審議結果については、全議案を原案可決(人事案件の「同意」、専決処分「承認」を含む)した。また、請願第2号は一部採択、第3号は不採択とした。

◆本会議での質疑◆

問

24 m級はしご車導入の理由と車両の配置場所は。

答

市内の中高層建物、道路事情、活動スペースなどを考慮し、24 m級の車両に決定した。部隊運用、保管場所、出勤時の安全管理上の観点から、配置場所は南分署とした。

議案第58号

一般会計補正予算を可決

平成28年度一般会計補正予算(第1号)を全員賛成により可決した。今回の補正により、予算額は4,001万5千円増額され、総額218億7,001万5千円となった。

補正(第1号)の主な内容

【歳出】

●地域農政関係経費

国の補正予算を受けて、農業者の生産資材の導入経費などに対する補助金を計上

7,888万8千円

●市民会館管理運営費

市民会館の解体費用を算出するため、設計委託料を計上

747万5千円

◆本会議での質疑◆

問

地域農政関係経費について、事業の効果と算出根拠は。

答

生産性の向上や高付加価値化の取組のための施設整備や機械・機器のリース導入を支援し、花き産地としての収益力強化や合理化を図る。補助率は事業費の2分の1以内で、ハウス4棟の建設に7,722万円、炭酸ガス発生器とミスト設備のリースに166万8千円が算出根拠である。

問

市民会館解体費用算出のための設計とは何か。

答

解体工事の入札を行うための設計書及び図面を作成するものである。大屋根の解体工法・アスベストの除去方法を含めた建物全体の解体方法の設計や、隣接施設への影響調査、重機の仮設計画などの設計を行う。

人事案件 (議案第43～46号)

◆選挙管理委員会委員及び同補充員

任期満了に伴い、指名推選による選挙の結果、次の8名が当選した。
選挙管理委員
藤井年昭(大知波)
遠藤一明(吉美)

正田敏行(新居町内山)
夏目裕江(新所原東)
補充員
佐原 剛(境宿)
藤田祐司(鷺津)

牛田博文(新居町浜名)
伴 高男(梅田)

◆公平委員会委員

山本博己氏(吉美)から辞任届が提出されたため、後任として白井富士子氏(吉美)を選任することに同意した。

◆人権擁護委員

任期満了となる伴野喜子氏(新居町新居)を引き続き選任することに同意した。

◆固定資産評価審査委員会委員

任期満了となる時山富士雄氏(新居町内山)、吉原みゆき氏(太田)を引き続き選任することに同意した。

請願審査・意見書議決の結果

請願第2号

自動車関係諸税の見直しについての意見書提出に関する請願を一部採択

湖西市議会から国に対して次の項目について意見書の提出を求める請願が提出され、総務経済委員会へ付託。委員長報告の後、一部採択とした。

【請願の項目】

- 1 車体課税及び、燃料課税の「当分の間として措置される税率」廃止を検討すること。
- 2 複雑な燃料課税を簡素化すること。
- 3 タックスオンタックス(注1)を解消すること。
- 4 自動車税のグリーン化特例について、経年車への重課は再度検討し過大な負担とならないよう配慮すること。

【「採択すべきもの」とする意見】

- ・自動車関連産業が多い当市では賛同できる。
- ・排ガス測定をさらにきめ細やかに行うなど、環境へ配慮した制度をあわせて整えた上で、経年車への重課を見直すことには賛同する。

注1…税金に税金が課せられる二重課税のこと

議案第63号

自動車関係諸税の見直しについての意見書を可決

(要約) 移動手段を自動車に依存せざるを得ない地方にとって、自動車は必需品であり、自動車に関する負担の増加は家計を大きく圧迫しています。また地方には自動車関連工場が多く立地しており、自動車産業の衰退による地方からの人口流出が懸念されます。

よって、国においては、自動車関係諸税の見直しについて、下記事項を講ずるよう強く要望します。

記

- 1 車体課税及び、燃料課税の「当分の間として措置される税率」廃止を検討すること。
- 2 複雑な燃料課税を簡素化すること。
- 3 自動車のグリーン化特例について、排ガス測定をきめ細やかに行うなど環境へ配慮した制度をあわせて整えた上で、経年車への重課は再度検討し過大な負担とならないよう配慮すること。

※あて先…内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

請願第3号

所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願を不採択

湖西市議会から国に対して、家族従業者の自家労賃を必要経費と認めない所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求める請願が提出され、総務経済委員会へ付託。委員長報告の後、不採択とした。

【「不採択とすべきもの」とする意見】

- ・税負担の公平性からは、青色申告を進めていくことの方が重要である。

賛否が分かれた請願一覧表



請願番号・請願名	結果	福永 桂子	菅沼 淳	土屋 和幸	高柳 達弥	楠 浩幸	佐原 佳美	渡辺 貢	吉田 建二	加藤 弘己	竹内 祐子	荻野 利明	豊田 一仁	島田 正次	馬場 衛	牧野 孝二	中村 博行	神谷 里枝	二橋 益良
請願第2号 自動車関係諸税の見直しについての意見書提出に関する請願	第3項 不採択	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	●	—
請願第3号 所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願	不採択	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	—

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(二橋益良)は採決に加わらない。



▲あじさい祭り(新所)

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今6月定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。

湖西市公式サイト

市ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

<http://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市HP

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(USTREAMへ)

次期市長に名乗りを上げた2人について、どう感じているか

▶▶▶ 大変価値ある決断だとうれしく思う

●湖西市と湖西市長の今後について

問

働き盛りの若い湖西市出身者2人が次期市長に名乗りを上げたが、この2人の決意について現市長としてどう感じているか。

答

働き盛りの2人が市長候補として名乗り出たことは、大変価値ある決断だとうれしく思う。

●合併してよかったと思える市政について

問

「合併してよかったと思える市政」に対する市の資源の活用についての具体的な考えと、次のリーダーへバトンタッチしなければならない立場としての第一の助言は何か。

答

今年の広報こさい1月号にも市長あいさつで書いたが、第1に「浜名湖」、第2に「新居の関所」、第3に「豊田佐吉翁」がまちおこしの重要なキーワードである。バトンタッチするのであれば、この3つを伝えたい。



島田 正次



▲湖西市マスコットキャラクター「コーちゃん」

要介護1、2での特別養護老人ホームの入所実態は

▶▶▶ 制度改正前からの継続入所者を含め、45人である

●2025年問題に向けた高齢者医療・介護への対応について

問

湖西市における要介護認定基準の各段階の人数と要介護1、2での特別養護老人ホームの入所実態は。

答

平成28年3月末で、要支援1は248人、2は225人、要介護1は552人、2は349人、3は246人、4は225人、5は139人である。要介護1、2での入所者は、45人である。(※原則要介護3以上に限定された平成27年度の制度改正前からの継続入所者を含む)

問

高齢者虐待件数、相談件数、防止策、介護者への支援について実態は。

答

平成27年度の虐待件数は7件、相談件数は9件であり、前年度と比較して虐待件数は2件の増加、相談件数は16件の減少となった。

地域包括支援センターの職員による地域での相談や見守りをはじめ、ケアマネジャーや事業者への研修会を行い虐待防止に努めており、介護者へはケースに応じて、兄弟家族への協力依頼や各種介護保険サービスの利用により、ストレス軽減を図る支援を行っている。



加藤 弘己





楠 浩幸

社会増加数の改善のための若年層への対策は

▶▶▶ 移住・定住セミナーへの参加や市内企業の就職説明会などを活用し、定住を促したい

●新・湖西市総合計画基本計画の見直し案について

問

社会増加数の改善は若年層への対策が必要と考える。具体的な施策内容と効果の見積もりは。

答

若年層の意識調査として、平成27年度に実施したアンケートの結果、「UIターン」の取り込みが有効と考える。

大都市で行う移住・定住セミナーへの積極的な参加と、市内企業が行う就職相談会などを活用し、市内企業への就職、定住を促し、人口目標の64,000人に近づけたい。



▲新・湖西市総合計画

問

目標達成に対する責任の担保と次期市長の方針を取り入れる用意は。

答

中間目標の実績値を真摯に受け止め、残り5ヵ月間は市政における長期・短期の計画及び予算の執行責任者として努力する。

次期市長の方針は、「実施計画」で補完して実行するなど柔軟に対応していただきたい。

湖西病院は、これから赤字を防げるのか

▶▶▶ 常勤医師の増員による収益の好転に期待している

●湖西病院欠損金について

問

市長就任からの湖西病院への繰出金と、病院決算での欠損金の総額、欠損金に当たった費用の内訳明細額は。また、これから赤字を防げるのか。

答

市長就任からの湖西病院への繰出金は、平成17年度から27年度までの11年間で99億7,133万8千円であり、28年度については、10億100万円を予定している。27年度までの営業助成

は37億1,523万5千円なので、残り62億5,610万3千円が法定繰出金である。欠損金累計は平成26年度末で8,203万3,247円となり、支出を伴わない減価償却費、資金繰りの確保に努力している。

7月から常勤医師を1名増員予定であり、収益の好転に期待している。すぐの赤字解消は難しいと考えるが、徐々に繰出基準内での経営ができるよう努めている。



中村 博行



▲湖西病院



荻野 利明

生活困窮者自立支援制度の相談業務の中で出てきた課題は

▶▶▶ 幅広い知識と経験を持った相談員の育成が課題である

●生活困窮者自立支援制度から出てきた課題は

問

相談業務の中で出てきた課題は何か。

答

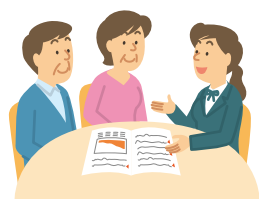
相談者の抱える問題は複合的かつ複雑なものが多く、短期間で自立に結びつけることは困難であり、内容により専門機関との連携が不可欠となるため、幅広い知識と経験を持った相談員の育成が課題である。

問

どのように制度のPRを行っているのか。

答

制度導入にあたり、庁内へ制度の周知と協力要請をした。また、全戸配布の社協だよりにて事業概要を掲載、関係部署の窓口チラシを配置したほか、包括支援センターへのチラシ配付と協力依頼、民生委員・児童委員協議会、地区福祉会へパンフレットの配布と制度説明などを行っている。



その他の質問

●国民健康保険の広域化について、多子世帯の国保税・均等割の減額を！



竹内 祐子

保育園整備の現状分析は

▶▶▶ 0～2歳児の受け入れ枠不足が課題となっている

●「女性の活躍」について

問 出産・育児期の女性が働き続けるためには、保育園の整備が必要である。現状をどのように分析しているのか。

答 入所希望者は年々増加しており、6月1日現在、入所定員を超えている。特に0～2歳児の受け入れ枠不足が課題となっている。今後、既存施設の有効利用を図った認定こども園化と、4月に新たに創設された企業主導型保育事業を、関係部署と連携し進めていく。



問

女性の活躍を推進するため、地方創生総合戦略で取り組む事業は。

答

「女性の再就職応援事業」では女性の再就職セミナーや企業見学会や就職面接会などを、「ダイバーシティ・マネジメント推進事業」では市内企業向けのセミナーの開催や中小企業へのアドバイザー派遣を、「多様な進路選択支援事業」では、製造業の楽しさとやりがいを発信するため、高校生向けのセミナーを実施していく。

今期の任期をもって引退するという理解でよいのか

▶▶▶ 2人の政策を見てから進退を決めたい

●三上市政、三期の自己評価と任期満了に伴う進退について

問 今期の任期をもって引退するという理解でよいのか。

答 2人の人物が名乗り出たが、何をやりたいのかが見えていないため、2人の政策を見てから自身の進退を決めたい。

問 三上市政3期の自己評価は。残された任期をどのように総括し集大成とするのか。

答

改善できなかったことは、病院、出生率の向上と人口減の歯止め、研究所の建設、佐吉翁の考えをもっと深く青少年少女に伝えることの4つである。評価できることは、大森地区への工場誘致、ごみ・花・あいさつの運動により犯罪が4分の1に減少したこと、長期に渡る人件費の削減の3つであるが、30年、50年、70年先にならないと政治家の評価はできないと考える。



菅沼 淳



▲湖西市役所



佐原 佳美

「こさい版ネウボラ」は、どのように実施しているのか

▶▶▶ 既存の事業を充実させ、切れ目のない子育て支援の実施に努めている

●こさい版ネウボラ(子育て世代包括支援センター)について

問 「こさい版ネウボラ」は、どのような組織体制で、居場所・交流スペースの確保などを含めてどのように実施しているのか。

答 「赤ちゃん訪問」は、平成27年の10月から、生後2カ月の訪問に先立って生後1カ月ほどで担当地区の保健師が連絡し、育児の不安解消を図っている。

「初めてのママ教室」は、交流の場と

して有意義なものとなっており、平成28年度は、1コース4回から2コース8回に増設した。

子育て支援センターでは、平成27年度から児童発達支援として「つくしんぼ教室」に加え、「かるがも教室」を新たに実施している。また、利用者支援事業として「利用者支援専門員」を配置し、子育て相談や情報提供を行うなど、関係各部署と連携し、切れ目のない子育て支援の実施に努めている。





馬場 衛

児童・生徒の自転車利用に対する安全対策は

▶▶▶交通安全教室のほか、PTAが保護者に呼びかけているところもある

●湖西市の安全・安心なまちづくりについて

問

児童・生徒の自転車利用に対する安全対策は。

答

毎年交通安全教室を実施し、自転車の正しい乗り方、ルール、安全な走行のしかたを指導している。学校によっては、PTAが自転車利用に関する申し合わせを作成し、保護者に呼びかけているところもある。



▲交通安全教室の様子

●湖西市地域防災計画における防災・減災対策の進捗について

問

急傾斜地の防災対策の進捗状況は。

答

急傾斜地崩壊対策事業の施工済み指定区域は11カ所で、平成28年度、新たに白須賀字宿北地内に危険区域の指定申請を行う。この事業は、多くの時間と多額の費用がかかるため、土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を指定し、避難体制の整備や一定の開発行為の制限などを行うほか、全戸配布したハザードマップの中で市民へ周知し、避難の参考としていただいている。

継続した市政運営のため、若手職員によるプロジェクトチームが必要ではないか

▶▶▶フレッシュな発想と、さらに質の高い計画づくりのために必要と考える

●湖西市の将来展望のためのプロジェクトチームづくりについて

問

継続した市政運営のため、若手職員によるプロジェクトチームが必要ではないか。

答

「湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、39歳以下の職員を対象に人口減少対策事業案の募集を行い、総合戦略へ盛り込んだ。フレッシュな発想と、さらに質の高い計画づくりのためには、若手職員によるプロジェクトチームは必要と考える。

問

人口減少をどのように捉えているか。

答

全国的な問題であり、都市部よりも地方圏の方が減少率が大きくなることが予想されている。湖西市では、平成20年の63,956人をピークに減少に転じているが、1日の流入人口が流出人口を7,000人以上も上回る本市の場合、定住に取り込む有効な施策を講ずることで、人口減少に歯止めをかけることができると考える。

その他の質問

●新・湖西市総合計画と各種計画との整合性について



豊田 一仁



吉田 建二

市民会館の建設構想を策定し市民に示すべきでは

▶▶▶公共施設再配置計画の中で方針を決定したい

●市民会館の早期再開に向けた取り組みについて

問

市民会館の建設を少しでも早く実現し、市民に安心を与え協力していただくためにも、概要などをまとめた建設構想を直ちに策定し市民へ示すべきではないか。

答

市民会館の建設構想は、今年度公共施設マネジメント推進室が中心となって作成する「公共施設再配置計画」の中で方

針を決定したい。また、市民会館を含めた今後の公共施設のあり方について、市民向けのアンケートを近日中に実施する予定である。

問

市民会館を取り壊した跡地はどうか。

答

原則として、借地は地主へ返還し、市有地は不足している健康福祉センターや市役所庁舎の駐車場として当面使用していきたい。



▲市民会館



土屋 和幸

老朽化した園の建て替え計画はどのように検討されているか

▶▶▶ 公共施設再配置計画の中で整備計画を検討している

● 老朽化した幼稚園・保育園の建て替え計画について

問 岡崎幼稚園や鷺津保育園など、老朽化した園の建て替え計画はどのように検討されているか。

答 単なる建て替えではなく、「子ども・子育て支援事業計画」やこども園化、移転改築なども検討する必要がある。施設の規模や配置について検討し、子ども・子育て会議、総合教育会議に諮るとともに、公共施設再配置計画の中で整備計画の検討を行っている。



▲ 岡崎幼稚園

問

新・湖西市総合計画の基本計画で幼稚園・保育園施設の整備再編計画策定がうたわれているが、見直した内容は何か。

答

施設整備については保育園の入所待ち児童の解消を含めた整備を考えている。また、老朽化対策に加えて、こども園化や入所希望が多い地域への保育施設設置の検討を新たに追加した。

総合計画の最終目標年度時点での下水道普及率の目標は

▶▶▶ 下方修正し、45.9%としている

● 公共下水道の整備状況と今後の事業進捗について

問

下水道普及率は平成26年度末時点で41.6%となっているが、総合計画の最終目標年度である平成32年度時点ではどのくらいを見込んでいるか。

答

下水道処理区域内人口は33,410人を目標としており、平成26年度末と同じ人口と仮定すると普及率は54.7%になる。しかし、検証の結果、目標達成は難しい状況であるため、目標値を28,000人に下方修正し、湖西市総合計画審

議会に諮る予定である。修正後の普及率の目標値は45.9%となる。

● 新・湖西市総合計画を推進するための方策について

問

協働のまちづくりを目的とした条例制定は考えられているか。

答

平成23年度に条例の代わりに「市民協働指針」を作成している。市民協働は市民の自発的な行動を伴うものと捉えており、今後、条例の必要性について検討していく。



高柳 達弥



福永 桂子

防犯灯のLED化事業の今後の計画は

▶▶▶ 修繕にあわせて推進していく

● 湖西市の地球温暖化対策及び省エネ対策について

問

防犯灯のLED化事業のこれまでの実績と今後の計画は。

答

平成28年3月末時点で4,786本の防犯灯の内、555本がLED照明となっている。毎年100本強を整備しており、今後も修繕にあわせて随時推進していく考えである。

問

街路灯・防犯灯、市役所をはじめとする行政関連施設・病院・小中学校

の室内灯のLED化と空調設備の更新について、環境省の各種補助事業の活用も視野に入れた事業化の予定はあるか。

答

新・湖西市環境基本計画において、市庁舎及び公共施設における二酸化炭素排出量の縮減とLED電球などの省エネ機器の普及促進を掲げている。地球温暖化対策や省エネ対策につながる各種補助事業については積極的に活用していきたい。



▲ LED防犯灯が整備された住宅街

市議会からのお知らせ

議会だよりをスマホでも!

無料アプリ「i 広報誌」を使って、「こさい議会だより」がスマートフォンで読めるようになりました。

(※別途通信料がかかります。)

利用方法

- ① 右のQRコードからアクセス
- ② 「i 広報誌」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「湖西市」に設定



● 9月定例会の予定 ●

8月30日(火) 10:00～	本会議第1日
9月 8日(木) 10:00～	本会議第2日(一般質問)
9日(金) 10:00～	本会議第3日(一般質問)
12日(月) 10:00～	本会議第4日(一般質問)
13日(火) 10:00～	本会議第5日
16日(金)～21日(水) 9:30～	決算特別委員会
26日(月) 10:00～	総務経済委員会
27日(火) 10:00～	福祉教育委員会
28日(水) 10:00～	建設環境委員会
30日(金) 10:00～	本会議第6日



予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

政務活動費の報告について

平成27年度の湖西市議会政務活動費に関する書類を、つぎのとおり閲覧できます。

閲覧日時	午前8時30分から午後5時15分まで(土日、祝日を除く)
場 所	湖西市議会事務局(市役所3階)
対 象	収支報告書などの写しや主要な調査研究活動の内容を記載した書類など

※議員ごとの収支報告書の概要は、ウェブサイトへ掲載しています。

………議会傍聴に来ませんか?………

- どなたでも傍聴できます。
- 当日、市役所3階議会事務局へお越しください。
- 予定が変わることもあります。事前に議会事務局(TEL.053-576-4791)へお気軽にお問い合わせください。

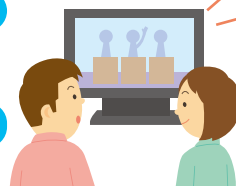
傍聴にこられない方も市議会の様子をご覧頂けます。

▶ 浜松ケーブルテレビ チャンネル・ウィンディ

本会議の一般質問が、浜松ケーブルテレビ「チャンネル・ウィンディ」で放映されます。

▶ 湖西市ウェブサイト インターネット放送

本会議のインターネット放送(生中継・録画)を市のウェブサイトからご覧になれます。



注目

編集後記

6月19日から選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられました。若い世代の方々に、地域社会が抱える諸問題を、政治的に解決しようとする視点をもっていただけることは、素晴らしいことです。

6月定例会が終わり、編集委員一同、皆様へ議会だよりをしたためました。この議会だよりが新たな有権者を含めた市民の皆様、議会への関心を呼び起こす一助になることを切に願うものです。

寝苦しい日々が続きそうですが、お元気に夏をお過ごし下さいね。(福永桂子)

編集委員

(◎は委員長、○は副委員長)

◎二橋 益良	○加藤 弘己
福永 桂子	菅沼 淳
土屋 和幸	高柳 達弥
佐原 佳美	神谷 里枝

今回は

10月31日 発行予定です

